

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院  
2012-2013年 5年生存率

胃

	対象数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	平均年齢(歳)
全体	442	96.2	50.5	70.8
I期	232	95.3	79.6	69.6
II期	44	90.9	46.8	70.3
III期	70	98.6	20.4	70.3
IV期	76	98.7	2.7	72.3

大腸

	対象数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	平均年齢(歳)
全体	549	96.7	61.1	70.3
I期	132	96.2	80.6	69.6
II期	155	96.8	75.1	71.3
III期	138	95.7	68.0	69.8
IV期	108	98.1	16.2	68.4

肝

	対象数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	平均年齢(歳)
全体	98	95.9	27.4	72.2
I期	46	95.7	46.5	73.7
II期	24	-	-	-
III期	(7-9)	-	-	-
IV期	10	-	-	-

肺

	対象数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	平均年齢(歳)
全体	371	98.7	34.8	71.3
I期	119	99.2	73.7	70.5
II期	34	100.0	47.1	70.1
III期	70	97.1	20.9	70.2
IV期	135	99.3	7.0	72.2

女性乳房

	対象数	生存状況把握割合(%)	実測生存率	平均年齢(歳)
全体	182	95.1	83.6	62.7
I期	74	97.3	93.2	63.1
II期	64	90.6	88.6	61.9
III期	19	-	-	-
IV期	21	-	-	-

(国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター院内がん登録分析室による集計)

\* 対象数は、10例以下の場合「-(ハイフン)」表示。生存率は、集計対象30例未満の場合「-(ハイフン)」表示。

用語の説明

生存状況把握割合

生存率を推定するためには、がんと診断されてから3年、5年後の患者さんの生死状況を把握する必要があります。この生死状況が確認できている割合が生存状況把握割合です。一般に、生存状況把握割合が低いと生存率は本当の値よりも高く計算されることが知られています。

実測生存率

死因に関係なく、すべての死亡を計算に含めた生存率。がん以外の死因による死亡も含まれます。